



2020-2021年度 国際ロータリーのテーマ
ロータリーは機会の扉を開く
ROTARY OPENS OPPORTUNITIES



写真提供: 奥山崎一会員



第 2837 例会 R. Song 「四つのテスト」 天候：晴れ No.2837/2020. 8. 28

Guest 石田 直様（倉敷中央病院副院長 兼呼吸器内科主任部長）

Visitor なし

出席 会員数 70名（うち出席規定免除者②名①5名）

8 / 28 の出席率 64. 91%（出席者37名、内①4名）

欠席 浅見、江澤、古田、原田、林、神野、唐川、松隈、永井、中川、沼本、奥本、納、
斎藤、田中、椿原、和田（一）、渡辺（英）、渡辺誠、山中、各会員（20名）

●北尾会長

- ・今日の卓話は、倉敷中央病院副院長兼呼吸器内科主任部長の石田直様です。私と石田先生とは高校の同窓になります。先生は文系・理系を問わずオールマイティーで優秀な方です。
- ・今回南原様に入会いただき、会員数は70名になりました。引き続き2名が入会予定です。
- ・昨日、第7グループの会長・幹事会があり、皆さんと意見交換をしてきました。どこのロータリークラブも会員増強に困っておられ、会員数は減少気味ということです。皆様も新しい方に声をかけてメンバーを増やし、社会奉仕の体制強化に努めていきたい。

- 新入会員紹介：南原 滋 様（中国電力(株)水島発電所所長）、広島出身で5年前に水島勤務の経験があり今回2度目の倉敷勤務となります。これから色々と勉強させていただいて、少しでもお役に立てるよう努めていきたい。宜しくお願いします。

●幹事報告(石本(満)幹事)

- ・菊池地区ガバナー事務所より、第2690地区WEBセミナーのご案内 他2件

●創立60周年記念行事実行委員長より(渡辺(祐)実行委員長)

- ・11月8日開催の周年行事について、先週の21日元会長会で意見をお聞きしました。当日実施するのは記念式典と記念講演のみ。懇親会、祝賀会、ゴルフは実施しません。OB会懇親会も同様です。何もしないというのではなく、来年春ごろまでに新型コロナウィルス感染の終息を見ながら実施していきたい。詳細は、9月18日に改めてご説明します。物故者の慰霊は、10月9日(金)14:30から原会員の蓮花院で実施します。
- ・記念品は検討。記念事業は、フェイスシールドの贈呈を9月18日、25日で予定。

●スマイル報告(渡辺副 S.A.A・安藤副 S.A.A) ※紙面の都合上、内容を一部割愛しております。悪しからずご了承ください。

- ・流田会員：先週の石田会員の素晴らしいイニシエーションスピーチに感動いたしました。活動内容をお聞きし、街づくり貢献されていることに刺激を受けました。
- ・井谷会員：Zoom で例会に参加。前回から Zoom の音声は格段に良くなっており、とても快適に参加できました。ご対応いただきまして有難うございます。感謝感謝です！
- ・三宅繁会員：①コニカミノルタ女子プロゴルフ、JFE 瀬戸内海 GC で開催おめでとうございます。②三菱自動車工業水島のサッカー、天皇杯岡山県代表決定おめでとうございます。
- ・小野会員：横田会員、倉敷市民ゴルフ決勝大会で優勝おめでとうございます。素晴らしいスコアで尊敬いたします。どうすれば上手になれるかまた教えてください。
- ・北尾会員：三菱自動車サッカー一部第 100 回天皇杯岡山県代表。次戦もご声援お願いします。
- ・横田会員：8/22 霞橋 GC にて倉敷市民 G 大会が開催され、強豪集まるシニアクラスで優勝。
- ・白髪会員：石田直先生のご登壇を歓迎申し上げます。
- ・北尾会長、石本幹事、渡辺(清)副 SAA、安藤副 SAA：倉敷中央病院副院長石田様、本日はご講演の時間を作っていただき有難うございます。今後の社会生活に役立てます。

●プログラム卓話「新型コロナウイルス感染症について」

倉敷中央病院副院長 兼呼吸器内科主任部長 石田 直 様

※石田先生から専門的見地から詳しく説明して頂きました。以下は抜粋です。

- ・全世界での感染者数は 2,400 万人を超えており死亡者数は 80 万人超となっています。岡山県下の感染者数は 143 人で、幸いにも死者は出ていません。感染者は 20 代、30 代が多く、子供はあまり発症しません。高齢者が発症すると 4 分の 1 は死に至ります。
- ・PCR 検査の結果は、陽性、擬陽性、偽陰性、陰性の 4 種類があります。治療薬は現時点では二つしかありません。主な感染経路は①手指感染と②飛沫感染の 2 種類です。COVID-19 は発症当日の感染力が強く、無症状のうちにウィルスをばら撒いている可能性が高い。
- ・感染予防には、①手指衛生、②マスクの着用、③Social Distance をとること。今年の秋冬はインフルエンザと COVID-19 の流行が懸念されており両方が流行すると酷いことになる。
- ・日本感染症学会の提言では、新型コロナ流行地域では冬季に発熱や呼吸器症状を呈する患者を診る場合、インフルエンザと新型コロナの両方の可能性を考える必要があるとしています。今シーズンは両方の流行に備えてインフルエンザ予防接種を積極的に行いましょう。
- ・特に予防接種が必要な方は、高齢者、妊婦、基礎疾患・免疫疾患患者、医療従事者、高齢者等を介護する人です。

例会プログラム予定：

2020.9.4 (金) 卓話 イニシエーションスピーチ 和田 務 会員

2020.9.11 (金) 卓話「岡山リベッツの挑戦」(株)岡山リベッツ代表取締役 羽場 誠 様